**ＥＳＤＧｓ通信２０８号「学生たちにどのような変容が見られたか」**手島利夫

　5月18日（土）宇都宮大学・群馬大学共同教育学部の学生さん３６０名に向けに「Ｅ

ＳＤ教育法」という講演を３コマ：４時間半かけて実施しました。そして、この講演を契

機として「何が分かったか」だけでなく、「自分自身にどのような変容があったのか」に

ついて、振り返りを記述していただきました。

　そこには、「痛感した、取り組みたい、納得した、できると思えた、イメージが明るくなった、…に気付き、授業がしたくなり、取り組める、再認識できた、実感した、学んだ、反省した、変わった、分かった、衝撃だった、ハッとした、」などの言葉があったのです。

ＥＳＤ教育法・学生たちのふり返り：<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.esd-tejima.com%2F10-208-1.docx&wdOrigin=BROWSELINK>

　今回の講座では、ＥＳＤに関する具体的な授業論だけでなく、それを使って「主体的な

学び」をどのように創ったらいいのか、２つの単元を例に「どのようにして子どもの学に

ぶ心に火をつけるか」の部分について各自で具体的な授業構想を考えて書き出したり、そ

れを仲間と共有・検討してもらったりしました。理屈で分かったような気がしても、それ

を元に授業を組み立てることができなければ、単なる「口舌の徒」を増やすだけで、日本

の子どもたちの学びを変える人材育成にはなりません。大切なことは、「今の自分たちに

は主体的な学びを指導するだけの指導力・構想力が足りないのだ。」という気づきを自覚

することではないでしょうか。「手島だったらこんな風に学習を進めるよ」という具体的

なアイデアもお伝えしましたが、なるほど、そういう手もあるのかという受け止めをして

くれていました。

　また３コマ目では学生さんたちを小学６年生に見立てて、ＳＤＧｓへの導入の授業にも

参加してもらい、主体的に学ぶ楽しさやそのための手法を実感してもらいました。自分が

参加しても楽しさや充実感を感じたら、先生として、子どもたちにもそのような学びを提

供したくなるでしょうし、そのための学びも苦にならなくなるように思うのです。

「学生さんたちの学ぶ心に火が灯ってくれたとしたら、私が出かけて行ったことにも意

味があったかもしれないな」「この子はどんな先生になっていくのかな」「教育実習先で

知ったかぶったことを言わないで、しっかり学んできてくれるといいがな」などと思いな

がら学生さんたちの「ふり返り」を拝見しました。

　学生さんたちのふり返りは、ご本人たちからのご了解をいただいているものを掲載させていただきました。

お読みいただき、ありがとうございます。皆様からのお声も伺えるとうれしいです。

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」　手島利夫

URL=https://www.esd-tejima.com/

　　 　 　　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

　　　　　 ☏＝ 03-3633-1639　 090-9399-0891

　　 Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

【参考】

ＥＳＤＧｓ通信：手島利夫が名刺交換させていただいた方等に配信している不定期なメル

マガで、約1９００名様に配信中です。

 contact@esdtejima.com　にメールでご連絡いただければ、登録・及び削除をいたします。よろしくお願いいたします。